

みんなあつまれ、あしかがしぎかい。

# しぎかいひろば

## CONTENTS

### 特集 新たな100年のその先へ。

- ④ こんな結果になりました！
- ⑤ こんなことを聞きました！
- ⑩ 密着！あしかがしぎかい
- ⑫ ぎかいにとどけ！わたしたちのこえ

あしかが  
市議会だより

No. 361

2022.2

1952.4.10.

議 會 時 報

NO. 1 -A-

## 昭和二十七年良地方財政の展望

・地財政発表・地方財政白書刊・

(一)現在予想される新規財政需要額は平常費が四八八億円、臨時事業費が四四八億円計九三六億円である。(二)歳入見込みは廿六年度既定財政規模六〇七億円であるからこれに廿七年度の

新規財政需要額を加え、総額七〇六億円と推定される。(三)今国会における地方税法の改正見込みにもとづけば廿七年度の地方税収は約四一四億円の増収が期待されているが、自然増収の大きい税目は担当に偏任度が高いため一部の地方団体を除き相当数が独立財源の強化は大きくして期待されないので、これらの団体は財政の困難を打開し現況の欠陥を補うため法定外普通徴収を創設する動きが認められる。

四)廿七年度の歳入見込みは地方税三七七億円、平癒交付金一〇億円、国庫補助金一五〇億円、地方債四〇五億円、雑収入七七三億円で計六六五八億円と推定されたが附加償還税が延期されたので二九二億円を差し引かれるので歳入見込み総額は六八〇六億円と推定される。(五)歳入見込みは歳入見込み不足額は二〇〇億円と見込まれるがこれに対し平癒交付金五〇億円、地方債一五〇億円を増加することに決定した。

わが地方自治制度に民主的改革がなされてすでに久しい。かゝる法制の整備を通じて、市議会の責任と重要性がいよいよ加重され、運営の面においていく多の改革を見て今日に至っている。吾が市議会も地方自治法施行後二期に入り、過去の業績に誇るべきものもまた少なくないが、本年四月より、事務局の独立を期し、補助機関の充実を期して、その機能を高度に昂める段階に至ったことは、本市議会史

に一転期を画するものであつてまことに御同慶に堪えない。今度議員全体が、事務局の補佐を充分活用して、それぞれの私心を完全に遂行することを念願して止まないものである。議院が高度の審議を行うための今日の広範なる自治に対応するには、専門化の傾向は必然である。委員会制度が枚種の面におけるこのあらわれであるが、議員が所限の範囲のみに通ずることとは、市政の総合発展を期する

地方税法の一部改正法案は

**地方税法の一部改正法案の内容**

以上二点の目的を果す資としてこの度、この、議会時報を発売することにした。

議員および市政関係者の座右の資料として、御活用あらんことをこゝに切望して止まないものである。

## 発刊の辞に代えて

足利市議会議長 原田金三郎

# 議會時報

編集・発行  
足利市議会事務局  
印 刷  
足利市富輪町2473  
長井勝孝工 房

発刊当時のしぎかいひろば(第1号)

# 100年のその先へ。 ひろばが変わります。



リニューアルに当たり  
会派の代表者に  
インタビューしました

**発刊から  
70年を迎えます。**

西田 昭和27年に議会時報として発刊してから70年を迎えると聞いて驚いています。長い年月の中で議員それぞれがよりよいまちづくりを目指してきたと思うと、歴史の重みを感じます。

**大きくリニューアル  
しました。**

平塚 足利市議会は、令和元年12月に県内でいち早く広報広聴常任委員会を発足し、自主的な紙面づくりに取り組んできました。その結果、足利市議会らしいユニークな広報紙に生まれ変わることができたと思います。

## 会派とは？

議会の中で同じ考え方をもち活動する議員の集まりを会派といいます。会派の結成や所属は任意であり、会派を構成しない議員もいます。

## 足利市議会の会派と代表者

あしかが自民党議員会	渡辺 悟
万和クラブ	藤 昌之
織姫クラブ	西田 智
公明党議員会	西平 男茂

# 発刊から70年。 時代とともに歩む。

# 新たな しぎかい



1952年4月10日に議会時報という名称で発刊



会派の代表者にしぎかいひろばに込めた思いをインタビュー



齋藤 ただ、読んでもらえているのか心配になるときもあります。市民の方から「見たよ！」と声をかけていただくこともあり、とても励みになります。もうと多くの方に読んでもらうための工夫がまだまだ必要だと思えます。

## 今後の展望は あります。

渡辺 しぎかいひろばが市民の皆さんとの対話のきっかけになってほしいですね。そして、そこから市民の声に耳を傾ける広聴活動にもつながっていきたいです。

西田 時代が求めることに乗り遅れないようにチャレンジすることが大切です。昨年、市制100周年を迎えました。新たな100年とともに歴史を刻みたいですね。

(インタビュー 杉田 光)

# こんな結果になりました！

令和3年第7回臨時会は10月19日の1日間、令和3年第8回定例会は11月30日から12月22日までの23日間行いました。提出された議案などは計20件で、慎重に審議しました。



会議結果



審議結果



録画配信

市長提出議案等	19件
議員提出議案等	1件

**注目議案を  
Pick Up!**

## 総務企画防災常任委員会

Q

足利市地域公共交通会議条例を改正し、地域公共交通計画を策定することであるが、背景にある課題とはなにか。

A

地方自治体の財源だけでは公共交通ネットワークの全てを満たすことが難しいため、事業者や関係機関等の参画の下、どのようにすれば市民の利便性を確保できるのか検討が必要であると考えている。

足利市地域公共交通会議を、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく地域公共交通計画の作成及び実施に関する協議を行う協議会とするための条例改正について審議を行い、原案のとおり可決されました。

**PickUp 1**

議案第80号  
足利市地域公共交通会議  
条例の改正について

## 民生環境水道常任委員会

Q

市営住宅を活用して支援を継続することであるが、DV被害者に対して市営住宅の目的外使用を活用している自治体はあるのか。また、本市のように家財道具一式を整備しているのか。

A

市営住宅の目的外使用を活用してDV被害者を受け入れている自治体は本市を含めて県内に7市あるが、本市以外に家財道具の整備といった支援を行っている自治体はないと聞いている。

母子生活支援施設さわらごハム足利について、施設の老朽化や入所者が減少している状況から、令和4年3月末をもって施設を廃止するための条例廃止について審議を行い、原案のとおり可決されました。

**PickUp 2**

議案第84号  
足利市母子生活支援施設  
条例の廃止について

## 教育経済建設常任委員会

Q

御厨テニスコートは、足利市公共施設再編計画において短期のうちに廃止することであったが、令和3年度をもって廃止するに至った具体的な理由や利用者への代替措置を聞きたい。

A

施設の老朽化やクラブハウス内のアスベストの問題、指定管理期間の満了などが理由である。今後、同種の施設である渡良瀬運動場のテニスコートを整備し、利用していただきたいと考えている。

御厨テニスコートについて、渡良瀬運動場等への機能の集約化を図り、令和4年3月末をもって施設を廃止するための条例改正について審議を行い、原案のとおり可決されました。

**PickUp 3**

議案第90号  
足利市運動場条例の改正  
について

# こんなことを聞きました！

## 市政を問う一般質問を開催。 市民の思いを胸に、12名が登壇。

まちの課題などについてさまざまな視点から議員がまちの考えを聞く一般質問。ここでは各議員の質問をダイジェストでお伝えします。QRコードから録画配信をご覧ください。

議員	会派名 氏名	録画 配信
質問	議員の質問	
回答	市長などの回答	
ひと言	質問に込めた思いなど	



万和クラブ

末吉 利啓



### 自治体DXを推進し利用者中心の行政サービスの実現を！

質問

市民サービスの向上のためには、AIやICTなどの技術革新を生かした行政運営、自治体DXの推進が求められている。今後、計画的かつ効率的に各施策を進めるためには、推進計画の策定が必要と考えるが、現在の検討状況を聞きたい。

回答

本市のデジタル戦略については、現在策定中の第8次足利市総合計画前期基本計画に位置付けたところである。今後、外部人材を予定するCIO補佐官などの助言を踏まえ、各施策の推進計画である（仮称）足利市デジタル戦略を早急に策定し、利用者中心の行政サービスを目指していく。

ひと言

本市の行政サービスを維持・向上させるため、自治体DXを推進すべきと考えます。



あしかが自民党議員会

荻原 久雄



### 国道293号延伸の早期実現を！

質問

本市の中心部を南北に縦断する国道293号は、国道50号で終点となっている。国道50号からさらに南への延伸が実現すれば、首都圏中心部との人流や物流の活性化による経済効果が期待されると考えるが所見を聞きたい。

回答

国道293号を整備することで広域的な道路交通ネットワークの強化や地域間交流の活発化が図られ、産業や観光など本市の強みを生かしたまちづくりにもつながる。市議会の有志により設立された国道293号延伸促進議員連盟の協力もいただきながら、早期の事業化を目指して取り組んでいく。

ひと言

延伸することで本市から埼玉県まで4車線道路でつながり経済効果が期待されます。



公明党議員会

平塚 茂



## マイナポイントの取得手続きに対する支援を！

質問

マイナンバーカードの取得などに対して、1人当たり最大2万円分のポイントの付与が予定されており、速やかにポイントを受け取るためには手続等をする必要がある。マイナポイントの取得手続きに対して、本市はどのように支援するのか。

回答

国では新たに同カードと健康保険証及び金融機関の口座を連携された方に対して、段階的にポイントの付与を実施するとしている。本市においても速やかなポイント取得手続を可能とするため、行政サービスセンターを拡張して同カードの交付窓口を開設するなど、引き続き支援を実施していく。

ひと言

行政手続のデジタル化のためにはマイナンバーカードの早急な普及促進が重要です。



織姫クラブ

中山 富夫



## 危機管理体制の強化を！

質問

防災力を超える災害の場合、自衛隊に応援要請する事態になることは過去の災害からも明らかである。災害対応の専門知識を有するものとして国から地域防災マネージャーの証明を受けた退職自衛官を採用し危機管理体制の強化を図るべきではないか。

回答

自衛隊をはじめとする防災関係機関との連携強化は、危機管理上の最重要課題の1つと認識している。その対策として、退職自衛官を採用することは効果的な方法であると理解しており、どのような方法で本市の危機管理体制を強化することが適切なのか議員の提言も含めて検討していきたい。

ひと言

市民の生命と財産を守るため、安全安心なまちづくりを推進すべきと考えます。



あしかが自民党議員会

須田 瑞穂



## ふるさと納税によるまちの魅力向上を！

質問

昨今のふるさと納税の広がりを受け、群馬県などでは具体的な使途を掲げて寄付を募るクラウドファンディング型のふるさと納税に取り組んでいる。本市においても、ふるさと納税の促進のために取り入れていくべきと考えるがどうか。

回答

クラウドファンディング型ふるさと納税は、具体的な市のプロジェクトに対して寄付を募るものであり、寄付者から自治体への応援メッセージや寄付金額を随時確認できるなど、ふるさと納税の有効な手段の1つであると認識している。今後、他自治体の例を参考に鋭意検討していく。

ひと言

遅れを取り戻し、地域活性化を図るため、市長のトップセールスに期待します。



公明党議員会

富永 悦子



## 高校生の医療費無償化について問う！

質問

少子化への対策として、結婚や出産希望者への支援、良質な保育環境の提供、高校生までの医療費無償化など子育て世代の経済的負担を軽減する取り組みを考えているとのことであるが、高校生までの医療費無償化は令和4年4月から実施するのか。

回答

子育てにおける医療費や教育費などの経済的負担が少子化の原因の1つと言われており、医療費の負担軽減を図るため、高校生までの医療費無償化を検討している。実施に当たりシステム面の対応を含めてさまざまな課題はあるが、令和4年度内には実施できるように進めていきたい。

ひと言

次世代を担う子どもたちへの投資は最優先に取り組むべき施策であると思います。



あしかが自民党議員会

横山 育男



## 足利市制100周年記念特別展の 取り組みについて問う！

質  
問

令和3年12月3日から特別展の入場予約を開始したが、第1回目の予約分が約3時間で埋まってしまったと聞く。全国に向けて本市を売り込む一大事業であると考えますが、商店街や関係団体等との連携、市内回遊に向けた具体的な取り組みを聞きたい。

回  
答

足利市観光協会や足利商工会議所などの関係団体の協力の下、官民一体となって準備を進めている。また、刀剣乱舞とのコラボレーション企画として、等身大パネルの展示や記念グッズの販売、市内周遊スタンプラリーなど、来訪者にまちなかを回遊してもらえる仕組みづくりを進めている。

ひ  
と  
言

コロナ禍で停滞した経済の起爆剤となるよう、官民一体の取り組みを期待します。



織姫クラブ

大谷 弥生



## 災害に強いまちづくりのために 今すべきことを！

質  
問

足利市地域防災計画は、これまでの災害の教訓を生かした大規模な改定が必要である一方で、危機管理課の職員はこれから起こり得る災害への備えなどに注力できるようにすべきである。実効性のある組織にするため改定業務を外部に委託してはどうか。

回  
答

令和元年東日本台風以降、地域住民から地域の避難所対策や地区防災計画の策定等の相談を受けることが多くなっている。そうしたさまざまな対応を含めて地域防災計画の改定には膨大な事務量が想定されるが、喫緊の課題と考えているため、議員の提案も含めて効果的な方法を検討していく。

ひ  
と  
言

栃木県や桐生市、太田市など地域防災計画の改定を委託する自治体が増えています。



公明党議員会

藤本 秀樹



## 地域共生社会の実現に向けて 重層的支援体制の整備を！

質  
問

ダブルケアや8050問題など、市民が抱える課題は複雑化・複合化しており、従来の子ども・障害・高齢・生活困窮といった縦割りの支援体制では、はざまのニーズへの対応が困難である。包括的な支援体制づくりについて、本市の進捗状況を聞きたい。

回  
答

令和4年度からの5年間の計画期間とする地域福祉計画において、包括的相談体制の充実と整備、官民一体となった多機関協働による支援体制の構築に取り組む。地域共生社会を目指して、同計画に基づく重層的支援体制整備事業など各種施策を推進し、地域福祉の充実に努めていきたい。

ひ  
と  
言

地域共生社会の実現に向けて弱者の希望となる支援体制の整備を期待します。



会派を構成しない議員

鳥井 康子



## 新型コロナウイルス感染者の 療養環境の整備を！

質  
問

感染拡大の第5波では、市内に最大200人近くの自宅療養者がいた。自宅療養を感染症の療養方法として認めることは、医療の放棄にもつながることから最低限の対策として宿泊療養が必要と考えるが、本市の対応はどの程度進んでいるのか。

回  
答

宿泊療養施設は、県が9施設1,065室の確保に向けて調整しており、未就学児など諸事情で同施設の利用が難しい方にはオンライン診療等の体制を構築している。本市としても体調管理のポイントなどを掲載した自宅療養ハンドブックを作成し、ホームページ等を活用して普及啓発を行っている。

ひ  
と  
言

第5波の状況を踏まえ、今後の感染拡大に備えた療養環境の整備が必要と考えます。



あしかが自民党議員会

金子 裕美



## 5歳から11歳の子どもに対するワクチン接種体制の充実を！

質問

低年齢の子どもへのワクチン接種は、低年齢であるが故に接種を控えて様子見となることが想定される。本人や保護者が納得してから接種を希望したときに常に受けられるような体制にすべきであると考えているが、予約や接種の体制はどのようにするのか。

回答

国からは5歳から11歳までの子どもへの接種について具体的な連絡はないが、同年代に対して初の接種となることから、状況を見ながら接種を判断する方も多いと想定している。関係機関と連携して体制を整えるとともに、予約についてもワクチン供給量を踏まえて混乱のないように取り組む。

ひと言

納得して接種できる相談体制の充実と常に接種可能な体制を確立すべきと考えます。



会派を構成しない議員

尾関 栄子



## 市民の暮らしを守るために原油価格の高騰対策を！

質問

原油価格の高騰により、市内の灯油価格は値上がりしている状況にあり、市民生活やコロナ禍で苦しむ事業者の経営などに影響を与えている。生活保護受給者を含む低所得者へ灯油購入費を助成する福祉灯油を実施すべきではないか。

回答

本格的な冬を迎えるに当たり、暖房器具の使用頻度が高まる中、原油価格の高騰は市民生活に少なからず影響を与えるものと懸念している。低所得者への灯油購入に対する補助金の創設については、今後の原油価格の動向や本市の気候状況、近隣市の状況などを勘案し、研究していく。

ひと言

灯油購入費の助成について、特別交付税措置を活用した早急な対応を求めます。

**12** 月定例会が閉会しました。このコラムでは、今回の定例会で可決した2つの議案について振り返りたいと思います。

まず、足利市職員・特別職等の給与条例の改正です。これは、国の人事院勧告に基づいて、市議会議員を含む特別職と市職員の期末手当（ボーナス）を引き下げるものです。今回、国は国家公務員の期末手当を引き下げる方針を決定しましたが、令和4年6月に繰り下げて調整するという異例の対応としました。本市では、人事院勧告の民間準拠という考え方やコロナ禍という厳しい状況にある市民感情などを考慮し、国家公務員に先んじて令和3年12月の期末手当から引き下げを行うため、定例会の初日（11月30日）に同条例の改正を可決しました。

次に、子育て世帯への臨時特別給付の実施のための補正予算です。国は令和3年11月19日に高校

3年生までの子どもに10万円を給付することを決定しました。給付の時期は自治体により異なりますが、本市ではできる限り早く給付を行うため、一般質問の第1日目（12月10日）に先行して給付する5万円のための補正予算を可決しました。さらに国は、12月13日に10万円を現金で一括給付することを容認したため、急遽、定例会最終日の前日（12月21日）に関係する補正予算を可決しました。この結果、本市では12月22日に10万円の一括給付を始めることができました。

異例の対応でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているため、今後も速やかに市民生活を支援できるように対応していきたいと思えます。



# 議長コラム 足利市議会議長 栗原 収

## 12月定例会を振り返って

# ライブ感を楽しもう！ スマホで議会が見られます。

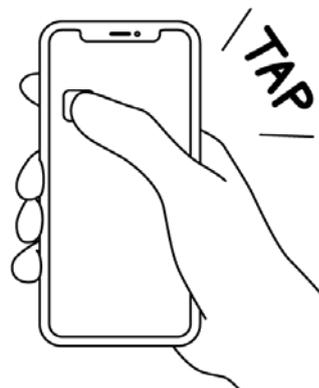


本会議、一般質問、委員会。  
白熱した議論を絶賛配信中。

まずは、**検索**しよう。

足利市議会 ネット中継

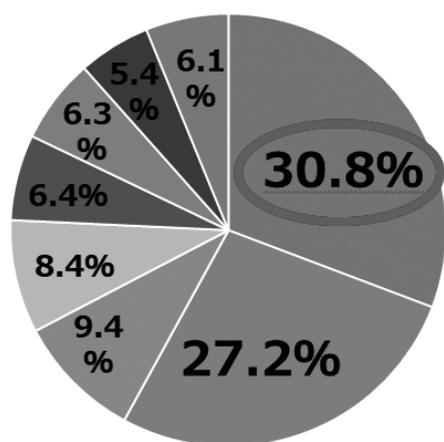
**検索**



# 密着！あしかがしぎかい

## 12月 おうちでぎかい報告会

### 3. どんなことに使われたの？



#### 一般会計決算の歳出（内訳）

- 市民生活や福祉のため
- さまざまな運営のため
- 道路や河川整備、交通安全などのため
- 子どもの教育や生涯学習推進のため
- 市債の返済のため
- 商工業や観光振興のため
- 環境施策や健康で清潔なくらしのため
- 防災、農林業振興などのため

税金の使い道、気になりますか？  
約8分！ 決算や議会のことを伝えます。

みんなにとどけ

おうちで  
ぎかい報告会

しぎかいとおかねのこと

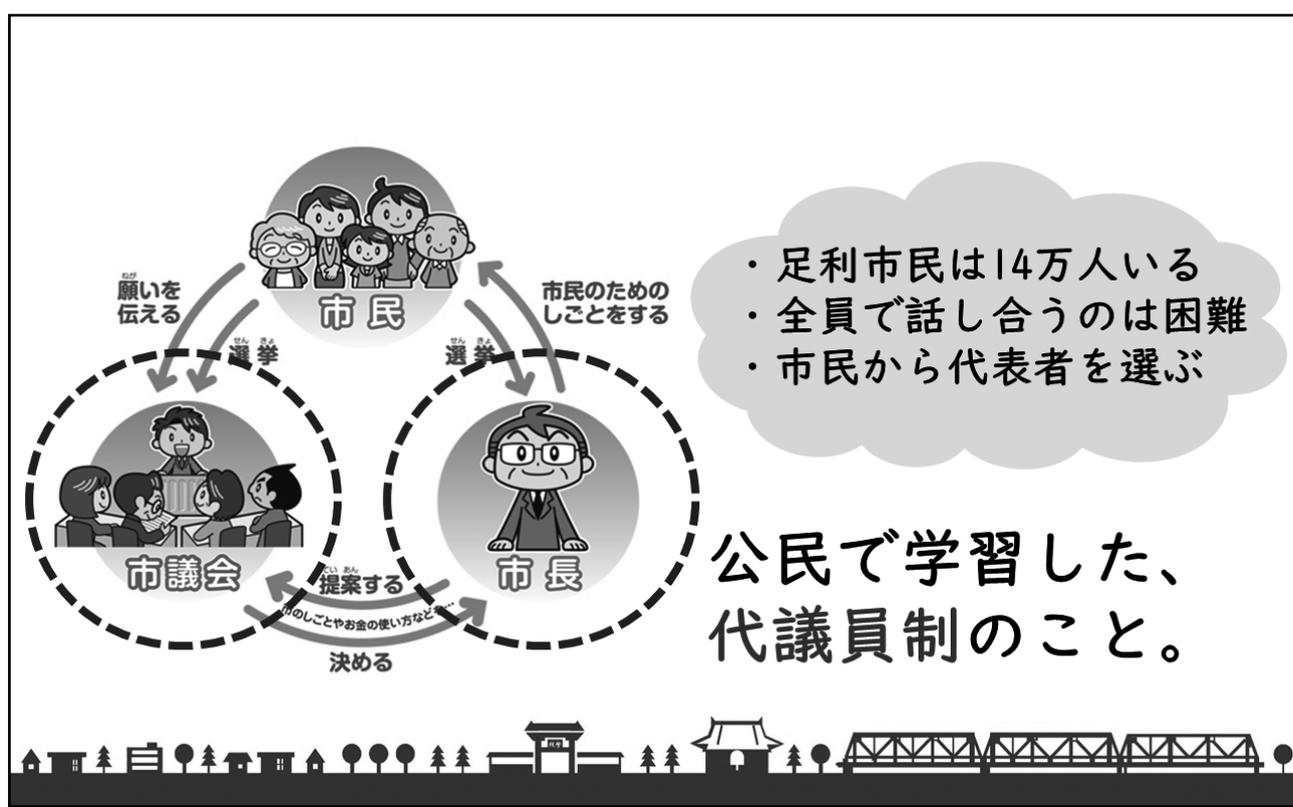
議会基本条例に基づいて、平成25年度から市民を対象に議会活動や市政に関する情報を提供し、自由に意見交換を行う議会報告会・意見交換会を開催しています。令和2年に引き続き、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、動画で決算や議会活動のことを配信しています。



配信中！

議会のとき以外なにしてるの？ 普段は家にいるの？  
 そんな疑問に応えるために知られざる議会活動を紹介

# 12月 中学生への出前授業



- ・ 足利市民は14万人いる
- ・ 全員で話し合うのは困難
- ・ 市民から代表者を選ぶ

公民で学習した、  
 代議員制のこと。

子どもと一緒に見てみませんか？  
 約8分！ 出前授業をお届けします。

いつでも、  
 どこでも、  
 きみにとどけ。

## 出前授業

公民の授業で地方自治を学習する中学校3年生に対し、地方自治への学びを深め、地方議会に興味や関心をもってもらうため、議員が市立中学校を訪問し、議会の仕組みの説明や意見交換を行う出前授業を実施しています。今回、新たな試みとして動画で配信しています。学校の授業だけでなく、ご家庭でも視聴いただけます。



## ぎかいにとどけ！ わたしたちのこえ

あしかがを盛り上げるには、どうしたらいいのだろうか？とあれこれ考えるうちに、高校生の私たちだからこそできることがあるのではないかなと思うようになりました。そこで、あしもり隊メンバーのみなで力を合わせ、学校で学んだことや私たちならではの発想を生かして、足利駅前でのキッチンカーイベントや、あしバスアッシーのラッピング、駅構内の装飾などにチャレンジしました。議員の皆さんにも、ぜひ私たちのような活動をしている若者を応援して、後押ししてもらえると嬉しいです。



若者、活動中。



### あしかが高校生クラブ あしもり隊

令和3年6月、あしかがを盛り上げたい！という思いで、あしもり隊を結成しました。足利工業高校と足利清風高校の生徒14名で、さまざまなあしかがを盛り上げる活動＝あしもり活動を行っています。

## 3月定例会のご案内

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24 本会議 (初日)	25	26
27	28	3/1	2	3	4	5
6	7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10	11 本会議 (一般質問)	12
13	14 総務企画防災常任委員会 民生環境水道常任委員会	15 教育経済建設 常任委員会	16 予算審査 特別委員会	17 予算審査 特別委員会	18	19
20	21	22 予算審査 特別委員会 (予備日)	23	24 本会議 (最終日)	25	26

足利市議会  
を知る



傍聴方法  
を知る



ネット中継  
を見る



会議録  
を見る



## 編集 後記



しぎかいひろばをリニューアルしました。足利市議会の広報広聴活動を担う広報広聴常任委員会は、令和元年12月に発足して以来、市民の皆さまに親しまれる広報紙づくりを行うため、勉強会を重ねてきました。読みやすく、わかりやすい、そして、手に取ってもらえるような親しみやすい広報紙とはどのようなものか。委員全員で真剣に議論し、今回のリニューアルに至りました。

リニューアルを機に、見開きによる特集ページや文字を少なくして画像を中心とした紙面にするなど、大きく生まれ変わりました。歴史や伝統を重んじるとともに、時代を捉え、市民の皆さまの関心に沿った内容を掲載し、しぎかいひろばの充実にも努めてまいります。

(広報広聴常任委員会広報部会長 杉田 光)